

エネルギー分野

メイドイン福島 of 風車タワーを造って 世界が認めるサプライヤーの仲間入り。

会川鉄工株式会社 (福島県いわき市) 事業実施場所：いわき市

実用化計画開発期間 平成 28 年度～平成 30 年度

福島阿武隈、浜通り、風力発電構想の発電タワーの国産化に向けた実用化開発



エネルギーシフトと連動する成長戦略

福島の針路は再生可能エネルギー（以下、再エネ）を軸に据え、トータルな社会構造の転換を図っていくこと。こうしたビジョンに共鳴し、これからの成長分野を見出した当社は、風力発電タワーの製造を手掛けるようになりました。革新的なエネルギーシフトへ対応するため、地元の産学官コンソーシアムへ参画。さらに「再エネ先進地」と言われるドイツで電力事情を視察するなど国内外の動向を捉え、有望市場のポテンシャルを確信するに至りました。

平成 29 年 6 月、わが国初の風力発電タワー専用工場が操業を開始しており「メイドイン福島」への期待が高まっています。そこには世界標準仕様と謳える先進的な機械・設備が導入され、より精緻な製品づくりを支えます。国内では例を見ないような技術水準と高品質で曲げ・プレス・溶接・組み立て・塗装などの工程が展開される環境です。

このたびの取り組みでは阿武隈山系、浜通りに建てる風力発電タワーの受注を目指して高さ 20m の小型タワー、100m の大型タワーの実用化開発を行います。タワー試作を行い、作業工程の検証・改善・標準化を進めます。受注競争に勝ち抜くため、製造技術のブラッシュアップと並行してコスト削減も必須

です。他社との差別化を、どのようにして果たすのか…こうした点が勝負どころで、絶えざるレベルアップを目指す最大のモチベーションと言えるでしょう。



会川鉄工株式会社 営業企画課長

吉田 圭二



フロントランナーとして、 何を目指すか

日本の風力発電タワーは、ほとんど輸入に依存している現状です。また、希少な国産品は海外製品と比べてコスト高なのがネックで、なかなか普及が進みません。

このような市場特性を逆手に取り、さまざまな技術課題や取引価格、さらに短納期に関する条件もクリアしていければ、すぐれた国産品の安定的な供給へ向けて道は大きく開けます。国内外の風車メーカーから、サプライヤー認定を取得できる可能性も現実味を帯びてくると考えられます。阿武隈山系・浜通り各地の案件については建設場所が近い点も、地元企業にとってはプラス要因です。

実用化モデルをベースとするビジネス展開は当面、福島で推進される事業を対象に納入実績を伸ばしていきます。ゆくゆくは、国内で建設される風力発電タワー各種を幅広く手掛けられるようになりたいです。



産業が興り、 人財が集まり時代は動く

人的リソースを充実させる一環として当社は、英語に堪能なスタッフを採用しています。海外の風車メーカーとの打ち合わせで、持ち前の語学力とコミュニケーションスキルを活かしてビジネスを進めていきます。また、ラインでの各工程に携わる技術陣にとっても、さまざまな要求仕様を理解して的確に応えるために英語は欠かせないツールなのです。

風力発電タワーほか、再生エネルギー関連の産業が浜通りに集積することは、復興を成し遂げる上で極めて意義深いと思います。たとえば、当社工場だけでも新規雇用が数十名に上るほか、調達・各種加工・品質管理・輸送といった局面で地場企業へ対する継続的な発注が見込めるからです。産業の集積、雇用拡大、そして経済効果の伸長という好循環が生まれ、日本に於ける風力発電産業の一大拠点が形成されようとしています。

法人概要



企業名：会川鉄工株式会社

創業：昭和33年3月5日

従業員数：100名

住所：〒979-0202
福島県いわき市四倉町上仁井田字東山46

TEL：0246-32-3811

URL：http://aikawatk.co.jp/



事業内容

エネルギー・環境衛生・建設・機械ほか、社会の基幹分野へ資材やプラントを供給してきました。平成29年6月、日本で初めての風力発電タワー専用工場が操業スタート。近年は医療・福祉との接点も深まり、リハビリ機能を備えた電動車イスを実用化開発中。設計と加工製造のノウハウを活かし、災害対応ロボットの開発にも着手しました。